



げろ

議会だより

TOPICS

- 議会カフェ実施レポート
- 12月定例会報告(審議結果)・常任委員会報告(審査結果)
- 12月定例会一般質問(内容紹介)
- よりわかりやすい一般質問を目指して・市長へ提言書を提出
- 総務産業建設常任委員会 管内視察報告・3月定例会日程

No. **87**

令和8年 2月1日

【市民と議員が語り合う「議会カフェ」を実施！】

令和7年10月27日からの6日間、93名の市民の皆さまにご参加いただき、「議会カフェ」を開催しました。「10年後の下呂市」を基本的な発想に「医療・安心」「交通・アクセス」「魅力・コミュニティ」「若者・定住」などの課題に対し、活発な意見交換が行われました。参加された方と共有したこの未来への展望は、下呂市の明日を切り拓くための原動力です。託された貴重なご意見やアイデアを今後の議会活動や政策提言につなげていきます。

議会カフェ実施レポート

～ みんなの声が、まちを動かす一歩に ～

詳細は
下呂市HPを
ご覧ください

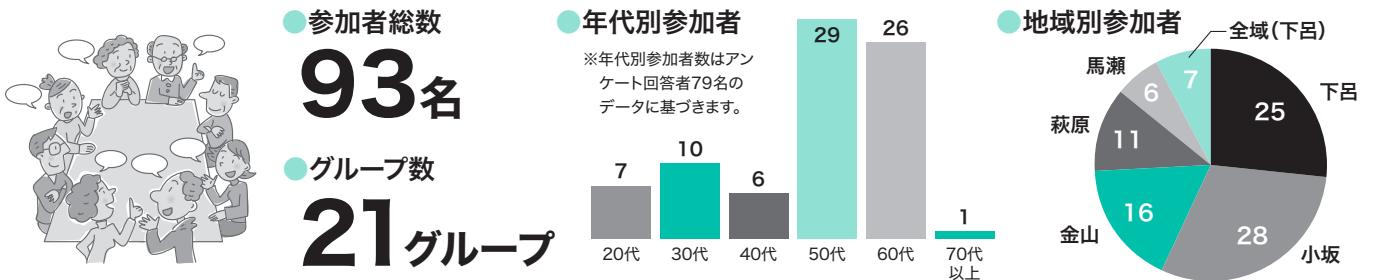


令和7年10月27日(月)～11月1日(土) 計6日

「市民の皆さまの意見を直接伺う機会を作る」

議員が皆さまの「生の声」を直接受け止める。そんな対話の場として開催された今回の議会カフェ。発想とする題目は「10年後の下呂市」です。少人数グループに分かれ、地域の未来に向けた切実な課題からワクワクする将来の夢まで、本音の言葉が飛び交いました。

参加者の内訳



全域で熱く語られた「4大テーマ」

医療・安心

誰もが健やかに、心穏やかに暮らせるまちへ

現状の課題

- 医療体制・医療水準への懸念
- 高齢者の通院手段や、障がい者の生活環境への不安
- 地域医療を支える人材不安

解決へのアイデア

- 限られた医療資源(人材・設備)を有効活用
- 移動支援や介護など、福祉サービスの質を向上
- 将来の医療を担う子どもたちの育成を支援



交通・アクセス

人と地域をつなぎ、暮らしと経済を活性化させる

現状の課題

- 高齢者や学生の移動手段となる公共交通が足りない
- 高速道路がなく、市外へのアクセスが不便
- 下呂駅周辺の暗さ・バス停の不便さ

解決へのアイデア

- デマンドバスの運行エリア拡大
- 濃飛横断自動車道(下呂・中津川間)の早期実現
- 下呂駅前の環境整備



若者・定住

若者が戻り、新しい世代が根づく魅力的な選択肢を

現状の課題

- 多様な仕事が少なく、若者の市外流出が止まらない
- 移住者向けの住宅や情報が足りない
- 子育て世代への支援がもっと必要

解決へのアイデア

- 企業誘致と地元での起業を支援
- 空き家リフォーム支援と専門相談員を配置
- 休日保育の開設など、子育て支援の拡充と郷土愛を育む教育を推進



魅力・コミュニティ

まちの宝を再発見し、世代を超えてつながる活気を

現状の課題

- 祭りの担い手不足や、住民交流の機会が減少
- 地元住民がまちの魅力を活かしていない
- 豊かな自然や温泉といった観光資源をPRしきれていない

解決へのアイデア

- 地域の祭りの復活や、多世代が集える交流の場を増やす
- 自然を活かしたツアーの企画やSNS等を活用し、国内外へ市の魅力をPR
- 点在する公園・観光施設を再整備(ブラッシュアップ)



その他の声: 多様な視点・独自のアイデアも

図書館の交流拠点化 / ゴミ出しルール周知 / 地域学の必修化 / 獣害対策 / 商店街の再生 / トンネル開通要望 など

議会カフェの流れ



全会場で活発な意見交換

① 想い・アイデアの共有

地域の課題を書き出し、話し合うテーマを決定しました。



アイデアを模造紙に集約

② 解決策の検討

10年後の理想の未来に向けて、具体的な解決策を考えました。



笑顔あふれる発表タイム

③ まとめ発表

グループごとに議論の結果をまとめ、市民と行政が担うべき役割を発表しました。

参加者の声と評価

● 対話の機会

70代男性

「普段できない話ができたり、議員とフレンドリーに話せる貴重な機会だった」

● 内容への要望

60代男性

「時間が短くて深く話ができなかった。次回もっと議論を深掘りしたい。」
「20代～50代の、もっと若い世代の参加が増えると良い」

● 学びと発見

40代女性

「自分一人では気づかない視点や、さまざまな考えを聞けて勉強になった。新鮮だった。」
「下呂市を愛する気持ちや、良くして行きたい気持ちを共有できて感動した」

● 政策への反映を期待

30代女性

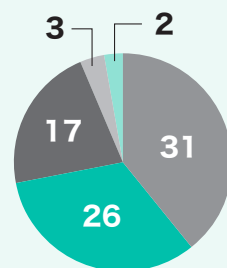
「出た意見を単発で終わらせず、しっかりと市政に活かしてほしい」

参加者の満足度

72%

が「満足・やや満足」

■ 満足 ■ やや満足
■ どちらとも言えない
■ やや不満 ■ 不満



※参加者数の満足度はアンケート回答者79名のデータに基づきます。

参加者から意見があった未来へのアクション

私たちにできること

- 地域の祭りや行事に積極的に参加・協力する
- 地元を楽しみ、SNSなどを通じて下呂の魅力を発信する
- 地域を守り、近所での声かけや助け合いを大切にする
- 地域の空き家情報などを市と共有する

市・議会に働きかけたいこと

- 地域医療の強化(医療資源の有効活用、出産環境の整備)
- デマンド交通の充実、下呂駅前の環境整備、路面整備等の交通インフラ強化
- 企業誘致・起業を支援する具体的な制度の創設
- 移住者向けの空き家を有効活用するための助成や情報提供

議会への要望

皆さまの声を、一過性のイベントで終わらせないために。アンケートでは議会への期待が寄せられました。

対話の継続

「議会カフェのような対話の場をもっと頻繁に開催してほしい」という声が多数ありました。

政策への反映

今回出された意見を市政に活かし、具体的な実現につなげることを強く期待されています。

議員への期待

市民と行政の「橋渡し役」となり、地域の生の声を届けてほしいとの要望がありました。

参加した議員の声

「率直な思いや地域の課題を直接聞くことができ、大変貴重な機会だった」

「市民が『何を求めているか』が肌でわかった。この熱量を政策につなげたい」

「多様な職種・年代の方と話せてよかった。今後も継続すべき取り組みだ」

議員アンケート

「今後も継続すべき」

86%

✓ 対話の重要性を再認識

「熱意」を「カタチ」へ

今回の議会カフェでは、多くの市民の皆さまから建設的なご意見をいただきました。個々のご意見をすべて即座に施策へ反映させるには課題もありますが、皆さまから寄せられた「下呂市を良くしたい」という熱意は、私たち議員一同、確実に受け止めました。

今後もこうした対話の場を大切にしながら皆さまの声を一つでも多く市政にお届けしていきます。

私たちにお声を
お寄せください

下呂市議会への意見・提案箱

あなたの声をお気軽にお寄せください。
オンラインで受付中。



市議会による出前ヒアリング (座談会)

議員が地域に出向き、膝を交えて語り合います。



12月定例会の報告

11月28日から12月19日までの22日間において、令和7年第6回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、熊の出没が多発している状況において、市民、来訪者の方々の生命及び安全を第一優先とした緊急安全対策を速やかに実施するための条例改正および補正予算の専決処分の承認、下呂市功労者等表彰および物価高騰対策に係る補正予算などについて同意・可決しました。

また、最終日には、指定管理者の指定、条例改正、一般会計・特別会計・企業会計に係る補正予算、国への意見書などについて可決しました。

上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。
(右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます)



○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について(下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例)	—	承認(全会一致)
専決処分の承認について(令和7年度下呂市一般会計補正予算(第9号))		
下呂市功労者表彰につき同意を求めることについて【表彰者7名】	—	同意(全会一致)
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第10号)	予算決算 常任委員会 (初日)	可 決 (全会一致)
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第4号)		
令和7年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算(第1号)		
市道の路線認定について	総務産業 建設常任 委員会	
市道の路線変更について		
下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について		
岐阜県市町村会館組合規約の変更に関する協議について		
岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等に関する協議について		
岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について		
下呂市公告式条例の一部を改正する条例について		
下呂市行政組織条例等の一部を改正する条例について		
下呂市表彰条例について		
下呂市観光交流センター条例の一部を改正する条例について		
下呂市下呂温泉合掌村条例の一部を改正する条例について		
下呂市水道事業給水条例及び下呂市下水道条例の一部を改正する条例について		
下呂市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市火災予防条例の一部を改正する条例について		
令和7年度下呂市水道事業会計への繰出について		
下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について	民生教育 まちづくり 常任委員会	
下呂市金山リバーサイドスポーツセンター等の指定管理者の指定について		
下呂市濁河温泉市営露天風呂の指定管理者の指定について		
下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定について		
下呂市デイサービスセンターの指定管理者の指定について		
下呂市老人福祉施設の指定管理者の指定について		
下呂市御嶽山五の池小屋条例の一部を改正する条例について		
児童福祉法等の一部改正に伴う内閣府令の改正に伴う関係条例の一部を改正する条例について		
下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第11号)		
令和7年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第5号)		

○（引き続き）全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
令和7年度下呂市水道事業会計補正予算(第2号)	予算決算 常任委員会	可 決 (全会一致)
令和7年度下呂市下水道事業会計補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第2号)		

○全会一致で可決した議案【市長提出議案（追加提出）】

議 案 名	付託委員会	審議結果
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第12号)	—	可決(全会一致)
令和7年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第3号)		

○全会一致で可決した議案【委員会提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
外国人観光客のレンタカー利用に関する意見書	—	可決(全会一致)

意見書詳細



12月定例会の議案審議の詳細

市民の皆さまの財産 ～公の施設～ を
管理する指定管理者を決定

下呂市では令和8年4月時点で、公園やスポーツ施設、こども園など30の施設を、民間事業者が管理運営する「指定管理施設」として運用を予定しています。施設の規模や役割は多岐にわたりますが、適切な運営が行われるよう議会で審議いたしました。令和8年度に更新される施設の指定管理者は下表のとおりです。

令和8年度更新施設と指定管理者一覧

条例施設名	指定管理者	指定 期間	指定管理料総額 (債務負担行為限度額)
下呂市下呂ヶ平サンビレッジ	スポーツマックス・三幸共同事業体	2年	53,600千円
下呂市金山リバーサイドスポーツセンター	スポーツマックス・三幸共同事業体	2年	155,180千円
下呂市金山リバーサイドスタジアム			
下呂市フィッシングセンター水辺の館	南飛騨馬瀬川観光協会	3年	7,200千円
下呂市濁河温泉市営露天風呂	株式会社ノイジー	3年	0円
下呂市道の駅馬瀬美輝の里	馬瀬総合観光株式会社	5年	0円
やすらぎセンター萩	社会福祉法人 下呂市社会福祉協議会	2年	22,000千円
やすらぎセンター四美			
小坂デイサービスセンター			
上原デイサービスセンター			
デイサービスセンターつつじ苑			
金山デイサービスセンター	社会福祉法人 下呂福祉会	5年	150,000千円
あさぎりサニールンド			
かなやまサニールンド			

★二次元コードから12月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細
令和7年11月28日
(定例会初日)



議案審議の詳細
令和7年12月19日
(定例会最終日)

令和7年度下呂市一般会計補正予算(第12号)
～暮らしを守る緊急対策予算を全会一致で可決～

物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するための補正予算を議決しました。11月末の国の方針決定を受け速やかに対応したものです。春先の生活を支える大切な支援として、確実に皆さまの手元へ届くよう注視していきます。

【主な補正予算の内容】

①市民生活への直接支援

●暮らし応援商品券配布事業 376,223千円増額
(うち国庫補助353,600千円)

《(国)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金》

対象者	内 容	方 法	見込み
全市民	1人当たり1万2千円分	商品券	3月初旬 順次発送
低所得者世帯	上記に加え1世帯当たり5千円分		

※市内商工会加盟店で利用できる商品券

●物価高対応子育て応援手当支給事業 79,614千円増額(全額国費補助)
《(国)物価高対応子育て応援手当支給事業》

対象者	内 容	方 法	見込み
0歳～高校3年生	子ども1人当たり2万円 (児童手当の振込口座へ)	現金給付	2月頃

②市内事業者への省エネ支援

●中小企業等省エネ対策設備導入事業
24,000千円増額(うち国庫補助14,400千円)
照明設備のLED化に対し、費用の1/2(上限20万円)を補助
《(国)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金》

《議会での主な質疑》

問 なぜ「デジタル」ではなく「紙の商品券」なのですか。

答 「紙」に一歩化した方が市民の皆さまのメリットが大きいと判断したため。

経費削減による配布額の増

●公平性: スマホを持たない高齢者や子どもも対象となるため、「デジタル」と併せて「紙」の仕組みも必要となり、二重のコストがかかります。

●手厚さ: 民間のデジタル決済は手数料(最大20%程度)が高額な場合があります。その手数料分を、皆さまへの還元に充てるため、経費を抑えられる紙を選択しました。

配布の迅速化

●スピード: デジタル決済システムの構築には3～4ヶ月必要ですが、紙であればより早期の発送が可能です。

民生教育まちづくり 常任委員会

12月16日、定例会初日に付託された9議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市金山リバーサイドスポーツセンター等の指定管理者の指定について》

(金山リバーサイドスポーツセンター、金山リバーサイドスタジアム、金山ふれあいパークの管理者を2年間指定するもの)

問 指定管理料が来年度増額になる理由は。

答 人件費と物件費の上昇があります。今後も、指定管理者と協議していきます。

問 3年後には、金山リバーサイドスポーツセンター周辺エリアの一体的な管理運営を検討しているが、現時点の構想は。

答 道の駅の宿泊・飲食機能とスポーツ施設の合宿機能をつなげるためのマネジメント会議を開催し、3年後には、一体的な運営ができる仕組みを目指します。

《下呂市老人福祉施設の指定管理者の指定について》

(養護老人ホームあさぎりサニール、特別養護老人ホームあさぎりサニール、特別養護老人ホーム)

かなやまサニールランドの管理者を5年間指定するもの)

問 あさぎりサニールランドと比べて、かなやまサニールランドの入所稼働率とショートステイ稼働率が低い理由は。

答 特別養護老人ホームの市内の待機者は200人程度います。かなやまサニールランドの入所稼働率が低い原因としては、職員の人員不足による入所定員の制限や次の入所者を決めるまでに少し期間が長くかかることが挙げられます。また、ショートステイ稼働率が低い原因としては、特養棟とショート棟が同じフロアにあるため、コロナ禍で感染リスクを考慮してショートステイの受け入れを度々制限していたことが挙げられます。



委員会付託
案件の審査内
容を動画共有
サービスYou
Tubeにて視
聴できます。



総務産業建設 常任委員会

12月15日、定例会初日に付託された16議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市表彰条例について》

(下呂市における表彰の実施に關し、特別名誉市民および市民栄誉賞の表彰区分を新設し、表彰区分ごとに制定されている条例を統一して、表彰の体系化を図るため、条例を制定するもの)

問 名誉市民等の功績をどう形に残すのか、顕彰のあり方は。

答 表彰のほか、写真等の掲示場所を検討すると共に、例えば今後「下呂市30年史」等においても、功績を広く顕彰できるよう努めていきます。



《下呂市観光交流センター条例の一部を改正する条例について》

(下呂市観光交流センターの名称および管理運営方法を変更するため、条例の一部を改正するもの)

問 観光交流センター改め「湯めぐり館」の管理運営方法を指定管理から市の直営とする経緯と方針は。

答 この施設の主たる目的の一つである「地域資源の紹介を通じた産業振興」をさらに進めるため、下呂温泉観光協会との協議の結果、市の直営へと切り替えることになりました。

た。今後は観光PRに加え、農林水産業や商業など、市内のあらゆる産業の魅力を一括となつて発信していきます。

問 直営化に伴い、職員の雇用およびレンタルサイクルの継続、さらには駅前にある下呂市総合観光案内所との兼ね合いは。

答 現在、職員は両施設共に、下呂温泉観光協会で雇用されており、湯めぐり館のみを市の直営とすると職員の処遇に差が生じるため、両施設一体での直営化が最適と判断し、両施設とも市が会計年度任用職員として直接雇用する予定です。また、現在の職員の方々への対応については、公募に対し応募していただければ、その知見・案内所職員の経験値を評価の対象として十分に考慮いたします。レンタルサイクルについても需要があるため、継続していきたいと考えています。



委員会付託
案件の審査内
容を動画共有
サービスYou
Tubeにて視
聴できます。



予算決算常任委員会

11月28日の定例会初日に提出・即日採決を求められ、審査を付託された7会計の補正予算について、審査を行いました。また、12月17日には、同じく定例会初日に提出され審査を付託された9会計の補正予算について審査を行いました。審査の結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《新入園児への入園用品の配付》

(令和8年度のことも園新入園児に対し、入園に必要な用品を配付するもの)

問 無償配付に至った経緯と、配付品目の選定の理由は。

答 昨年度行ったアンケートでも、未就学児の保護者の7割強が、経済的支援を望んでおり、現在の急激な物価高騰による影響などを踏まえ、今、必要な支援は何かという観点から支援策を検討しました。

配付品目については、園での生活や保育に必要なもので、日常生活も含め使用でき、子どもたちにも喜んでいただけて記憶に残る用品という視点から、名札・お便り帳・お絵かき帳、帽子の4品を選定しました。併せて配付する長靴は、地元企業が製作したものを想定しています。



《LED照明器具の購入助成》

(家庭における省エネルギーの促進と電気料金の負担軽減を図るため、家庭向けLED照明器具の購入費補助を行うもの)

問 補助制度の設計をするに当たり、LED照明器具への買い替え需要の予測が立てられているものと思うが、具体的にどのようなデータや方法に基づいて行われたのか。

答 需要予測については、直接的な調査は実施していませんが、2027年に蛍光灯の製造、輸出入の禁止が決定しています。これによりLED照明への急激な需要の高まりと、蛍光灯の大量廃棄による処分費の高騰などが考えられ、市民生活が少しでもその影響を受けないように物価高騰対策の一環として補助制度を創設しました。

《病児保育による子育て支援》

(下呂地域において病児保育を新たに実施するため、その担い手となる下呂温泉病院への施設改修補助金、お

よび市北部地域で病児保育を既に行われている秋原北病院が、病児保育利用者の利便性向上のために導入した予約受付システムに係る補助金を交付するもの)

問 病児保育利用者の利便性向上のための予約受付システムについて、他の事業所での導入予定は。

答 システムによると、利用希望者がスマホなどから24時間いつでも予約が可能となると聞いており、利便性が大幅に向上するものであることを確認しています。市南部で病児保育を行うかなやまこども園では、電話での受付をされている状況でもあり、下呂温泉病院も含めた病児保育事業所連携会議の中で、システム導入の必要性について検討が可能だと考えます。



▲かなやまこども園病児保育室

《创业者の支援》

(市内における創業の促進並びに創業

時の経営基盤の安定化を図ることを目的とする「创业者支援事業補助金」について、当初見込みを大幅に上回る補助申請があったことから不足する額を増額補正するもの)

問 補助申請が大きく増えていることは、地域の活性化という観点で良いことだと考えるが、創業をされた業種の傾向など、申請状況の分析は。

答 過去3年の傾向としては、女性、そして若い方の申請が約半数程度を占めており、業種的には、飲食店をはじめヘアサロン、ネイルサロン、民泊といったところから、相談支援も含め申請がされている現状です。

《地震ブレイカーの設置助成》

(地震発生直後の電気火災に起因する火災を予防する地震ブレイカーの設置に対する補助金について、当初見込みを大幅に上回る補助申請があったことから、不足する額を増額補正するもの)

問 補助申請の具体的な状況は。

答 補助申請件数としては、すべてで264件であり、そのうち、26件分は当初予算で補助金を交付済、それ以外の238件分に要する予算を今回増額計上しました。



予算決算常任委員会
(午前)



予算決算常任委員会
(午後)

委員会付託
案件の審査内
容を動画共有
サービスYou
Tubeにて視
聴できます。

12月定例会 一般質問

これって、どうなってるの？

【市民に代わって 議員が市政を問う】

議員が市長をはじめとした執行部に対して、執行状況や将来の方針、課題や疑問点など行政全般について報告や説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

鷺見昌己	<input checked="" type="checkbox"/> 空き家対策および活用について <input type="checkbox"/> 公設型合併処理浄化槽制度の導入検討について <input type="checkbox"/> ゼロカーボンシティ実現に向けたV2H設備導入支援について	大西尚子	<input type="checkbox"/> 多文化共生を基盤とした子育て支援の充実と必要な配慮について <input type="checkbox"/> 子育て支援情報の一元化について <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の補聴器助成制度と聴力検査について
加藤久人	<input checked="" type="checkbox"/> 介護予防事業(通所型サービスA)について <input type="checkbox"/> 移動販売事業者への支援について	田口琢弥	<input checked="" type="checkbox"/> 過去の一般質問事項の検証と市民の皆様からのご質問について <input type="checkbox"/> 第二期下呂市国土強靱化地域計画と避難所運営について
森哲士	<input checked="" type="checkbox"/> 下呂市産材の需要拡大について <input type="checkbox"/> 中山間の農地保全について	下平裕次郎	<input checked="" type="checkbox"/> 国の給食無償化を契機とした質の向上について <input type="checkbox"/> おむつ等が選べる無償支援制度導入について
田中喜登	<input checked="" type="checkbox"/> 地域主体の防災体制の構築に向けた取り組みについて	桂川融己	<input type="checkbox"/> 医療体制の現実を踏まえた健康づくりの方向性について <input checked="" type="checkbox"/> 芸術祭の成功と継続に向けた市民参加と運営体制について <input type="checkbox"/> 市民に届く広報の整理と採用広報の現状について
中島ゆき子	<input checked="" type="checkbox"/> 来秋開催の「下呂アートディスカバリー」について <input type="checkbox"/> ペットボトルの回収について	尾里集務	<input type="checkbox"/> 熊対策について <input checked="" type="checkbox"/> 認知症の対応について
高井範和	<input type="checkbox"/> 市民による避難所開設・運営について <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が元気に活躍するつながりづくりについて	今井政良	<input checked="" type="checkbox"/> 下呂市上ヶ平サンビレッジの今後について <input type="checkbox"/> 市長が掲げる「わくわく下呂市」構想の考えと施策について <input type="checkbox"/> 熊目撃情報の連絡先と市の対応について
桂川いずみ	<input type="checkbox"/> 市民の安心・安全につながる情報発信のあり方について <input checked="" type="checkbox"/> 地域づくりにおける統一的な方針について		<input checked="" type="checkbox"/> チェックしてある項目を次ページ以降に掲載 議員の写真下の二次元コードから各議員の一般質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

地域との協働による効果的な空き家対策を

また、空き家の掘り起こし、改修、管理といった各段階で官民が協力することは、より効果的な空き家対策を可能とするものであり、地域住民の

答 まちづくり推進部長
総務省や国土交通省の補助制度を活用した定住促進住宅等の整備に向けて検討を進めると共に、地域活動と連携した制度活用の可能性も模索したいと考えます。併せて、地域課題に取り組む団体の資金調達につながるよう、地域団体向けクラウドファンディング活用支援制度の創設等も検討します。

また、空き家の掘り起こし、改修、管理といった各段階で官民が協力することは、より効果的な空き家対策を可能とするものであり、地域住民の

答 市長
来年度の組織改編の中で、空き家対策を含む住宅に特化した課を新設する方向です。また、空き家の利活用を主体的に取り組まれている上原地区から要望がある地域おこし協力隊の配置についても、移住定住の促進に寄与する先進的モデルとして前向きに検討していきます。



問 地域住民と集落支援員が主体となった空き家調査・管理の動きが広がる中、市としての支援策は。

参加のもと民間事業者との連携を図り、空き家の適切管理や利活用を推進したいと考えます。



鷲見昌己 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



地域で自立し続けるために「通所A」の展開を



加藤久人 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 市内における「通所型サービスA（介護予防・日常生活支援総合事業）」の開設状況、および今後の展開方針は。

答 福祉部次長
一般的に「通所A」と呼ばれるこのサービスは、平成27年の介護保険法改正により創設された「介護予防・日常生活支援総合事業」の一つであり、効率的な事業運営が可能で多様な主体による柔軟なサービス提供が期待できることから、高齢者の自立を支える地域資源として、今後ますます必要性が高まるサービスであると考えます。

しかし、「通所A」を実施する事業所が開設されているのは、金山・萩原地域だけで



あり、下呂・小坂・馬瀬の各地域には現状開設されていません。介護保険事業は、民営が基本であるため、事業者は採算性や人材確保の面を慎重に考慮して参入を判断されます。

市としては、「通所A」は市民にとって有効なサービスであると認識していますので、市全域で等しくサービスが提供されるよう、事業者への働きかけ・情報発信や支援体制を一層強化していきます。

下呂市の森を活かす「産直住宅」の推進を

問 市内の住宅着工戸数が減少傾向にある中、住宅需要の獲得に向けた取り組みは。また、産直住宅の推進を図るための産直住宅団体との連携方策は。

答 農林部長

市は、下呂の森が育んだ木の家推進事業として、木材利用促進に係る協定を締結した市内建築事業者に対し、新築の場合は、使用した市産材1立方メートル当たり2万円（上限50万円）、増改築の場合は、市産材購入費用の3分の1（上限25万円）を補助し、それが最終的には建築主に還元されることになっていきます。また、昨年度からは店舗等の非住宅も補助対象としました。建築事業者は、市産材



森 もり

哲 士
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲産直住宅の建築状況

の活用に対し市から助成があることをセールスポイントとして営業をされており、今後建築事業者と情報を共有し、多様なニーズに対応していきます。

また、人件費や資材価格の高騰など、住宅建築を取り巻く環境が厳しさを増す中、下呂市木造住宅協議会等と緊密に連携を図りながら、産直住宅の推進を図るための支援のあり方について共に検討を進めていきます。

ゆるぎない地域防災力の確立を目指して

問 ひとたび災害が発生した場合、「共助」の機能が被害規模を大きく左右することになる。そうした中、各地区の防災体制に差異があると考えるが、市全体の防災力を底上げしていくための方策は。

答 総務部長

自治会の規模や構成により、防災体制における役職者の関わり方や役割に差異が生じていることは深く認識しています。それを一律の枠組みに統一することは困難であり、それぞれの地区の実情に即した体制づくりを行っていただくことが重要であると考えています。

その具体的な支援策として、昨年度より注力している

のが、自治会・学校・市の三者連携による避難所開設・運営訓練です。単なるマニュアル確認ではなく、現場で「何を備え、実行すべきか」を体感することで、地域の不足要素に主体的に気づき、具体的な対策を検討するきっかけとなることを目指しています。

市としては、この訓練を通じて、地区ごとに最適化された防災力が構築できるよう、引き続き連携を密にし、支援に努めていきます。



▲菅田地区での避難所開設体験会

田 中 喜 登
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



「アートディスカバリー」による地域魅力発信

答 総務部長
来場者の目標数は、企画の全容が固まった段階で設定する予定ですが、パスポートの販売については、開催期間の延長と鑑賞エリアの拡大などを踏まえ、昨年度の約3倍に当たる1万枚を目標として考えています。

問 下呂アートディスカバリー（芸術祭）実行委員会
予算における開催費用1億9500万円の財源内訳としては、市一般会計からの負担金1億6000万円、パスポート販売収入2000万円、その他寄附等で1500万円が計上されているが、来場者の目標設定は。



なかしま
中島ゆき子
議員

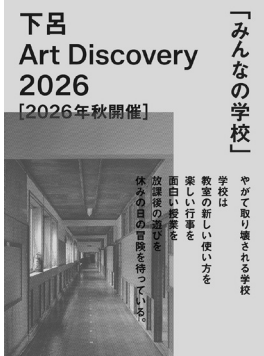
一般質問・答弁
の映像はこちら



問 旧湯屋小学校のプールの取り壊しは決定しているが、校舎は耐震補強をして残すのか、ゆくゆくは解体するのか、現段階の方針は。

答 まちづくり推進部長

旧湯屋小学校については、耐震性能を欠いていることから、常時利用は困難であるの見込んでおり、現時点においては、これまでの基本方針どおり、芸術祭終了後の解体を前提として考えています。



「みんなの学校」

学校は、やがて取り壊される学校。数々の新しい使い方を、面白く行なう。放課後の遊び場。休みの日の空間を待つ。

高齢者のやりがい・健康・交流を促す環境を

問 高齢者の能力が活かせる就労環境を提供する「シルバー人材センター」の現状は。

答 福祉部長

高齢者の能力を十分に活かすためには、柔軟な働き方の推進と、個々の特性に配慮した就労環境の整備が重要と考えます。市としては、こうした働き方を具現化し、地域に根差した役割を担うシルバー人材センターを中心に支援を行っています。

下呂市シルバー人材センターは、「高齢者の生きがいと健康づくりを支援し、地域活性化や医療・介護費の削減に貢献すること」を役割に掲げられています。会員数は362人で、会員数の減少お

よび高齢化が課題となっていますが、同センターによる会員の加入促進活動は、限られた体制の中で難しい現状にあると認識しています。そこで、会員や就労現場への取材を通じて、業務内容や生きがいを持って働く姿の「見える化」を図ることで、現状の周知と会員加入の促進につながるものと考え、市としての広報活動支援も進めていきます。



たかひろ
高井範和
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



地域を支える新たな仕組みの構築に向けて

問 合併から20年経過したが、旧町村ごとの地域づくりの仕組み（金山地域の公民館活動など）が継続されており、活動内容に違いが生じている。これが地域格差や不公平感につながらないよう、統一的な方針を打ち出す必要があると考えるが、今後の方向は。

答 地域振興部長
金山地域では、公民館長、同主事が配置され、夏祭りや生涯学習講座など、地域づくりに寄与する活動が戦後から続いています。地域づくりの中核に公民館を置いた取り組みは市内では金山地域のみです。しかし、高齢化や地域役員の担い手不足等を背景



に、新たな動きがあります。菅田、東地区では、集落支援員を配置し、地域運営組織（小学校区ぐらいのサイズ感で地域を考えていく仕組み）の立ち上げに向けた検討が進められています。地域運営組織は、元氣な地域コミュニティの維持と地域課題の解決を目的とするもので、今後、市内にも広まるものと考えます。なお、菅田、東地区では公民館活動から地域運営組織へ移行する計画です。



かつらがわ
桂川 いずみ
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



高齢者の聞こえに寄り添う、優しいまちへ

問 高齢者の聞こえに対する支援としての補聴器購入助成制度の創設と聴力検査の推進の考えは。

答 福祉部長

難聴がもたらす認知症リスクや生活の質の低下は、問題意識を共有しています。一方で、加齢による身体機能の低下は聴力に限らず複合的なものであり、特定の機能のみならず、衰え全体に対し公平な視点で支援を行うことが重要であると考えます。

補聴器購入助成制度については、有効性は認識していますが、整理すべき課題も多く、今後も国県の動向を注視しつつ、引き続き慎重に研究・検討していきます。



おおしな
大西 尚子
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



答 市民保健部長
「岐阜すこやか健診」の内容は県によって決められており、当市の判断で聴力検査を追加することは、制度上、難しい状況です。
なお、生活習慣病重症化予防への取り組み自体が、加齢性難聴の予防・進行遅延に直結するとの医学的知見に基づき、予防活動に取り組みます。併せて、市民の早期の気づきを促すためのツールとして、「聞こえのセルフチェックシート」を必要に応じてPRしていきます。

市立金山病院の抜本的な経営再生を

問 全国の公立病院の多くが赤字で、深刻な人材不足に直面している状況を受け、「金山病院の経営は大丈夫か」「市の財政に悪影響はないか」という不安の声が上がっているが、現在の金山病院の経営状態と今後の見通しは。

答 金山病院事務局長
令和6年度は一般会計から5億6456万7000円を繰り入れていただき、経常収支は4392万9千円の赤字となりました。

令和7年度も、病棟の一部削減に伴う入院収益の減少に加え、人件費や物価高騰の影響を受け、非常に厳しい経営状況にあり、こうした状況を



田口 琢弥
たぐち たくや
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



克服するため、病院運営の強化を最優先課題として取り組んでいます。

なお、本年12月1日に新院長に就任した安村医師は、「地域にひらく」「地域へうごく」「地域をつくる」を柱とした病院の抜本的な改革を進める方針を掲げており、その方針のもと、「間口は広く、敷居は低く」をモットーとして、地域で安心して暮らし続けたいという市民の皆さまの思いを叶えるため、職員一丸となって邁進していきます。



地域の食と農業を守る「給食改革」を

問 学校給食の無償化に伴う給食の質の低下が懸念される中、学校給食の質を確保、向上させていく方策は。また、給食を通じた地産地消推進の考えは。

答 教育委員会事務局長

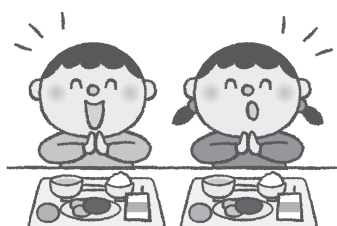
食材価格の値上げが続く中でも、市としては給食の質を落とすことなく提供を続けていく方針です。このため、仕入れの工夫と調理の人間による経費節減を行うと共に、できる限り地元産の食材を使用し、安全・安心で美味しい給食を提供します。

また、学校給食における地産地消は、地域食材への愛着を高め、食育を深めることだと考えます。今後も子どもたちに向けて地域食材や食文化

を紹介したり、生産者など食事を支えてくださる方たちの思いを知り、日々の食事を大切にするよう指導していきます。

答 農林部長

市内で生産されたものを児童生徒に食べていただくことは、いろいろな意味から大変重要であり、地域農業の維持振興につながるものと考えますので、地産地消の取り組みが進むよう、教育委員会と連携していきます。



下平 裕次郎
しも ひら ゆう じ ろう
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



市民参加でつくる芸術祭－成功と継続に向けて

問 下呂アートディスカバリー（芸術祭）2026の開催の目的は。

答 総務部長

芸術祭は、単なる集客イベントではなく、市民と芸術家が共に協力し、アートを通して地域の魅力を再発見する取り組みです。地域資源を生かした作品づくりを通じて生まれる「一体感」や「誇り」が、「また3年後もやりたい」という次への原動力になります。将来的には、市民の皆さんが芸術祭を共に創り上げるパートナーとなることを目指し、学校との連携を進め、子どもたちが本物のアートに触れる場も広がっていきます。そうした中で生まれる「感動の共有」を何より重視し、取り



桂川融己 議員
かわ ゆう き

一般質問・答弁
の映像はこちら



組んでいきます。

また、市の新たなイメージを印象付けるため、市内外への情報発信を進め、来訪者の誘客を図ります。世界中の人々に作品を見ていただき、感動と評価が市民の自信となり、次回への意欲や新たな目標へとつながる「心の好循環」と「協力・一体感」を生み出していきます。芸術祭を下呂市の未来を照らす「希望の光」となるような事業にしていきたいです。



▲市民と芸術家の協働による作品づくり

認知症に寄り添うための優しい支援を

問 高齢者の5人に1人が認知症になると推測されており、認知症の方とそのご家族が共に安心して暮せるための支援が求められているところである。そうした中、認知症と向き合うための「認知症ケアパス」の活用状況は。

答 福祉部長

当市では、認知症ケアパスを「もの忘れガイド」という名称で作成し、その活用を推進しています。これは、認知症の進行段階に応じた必要な医療・介護サービス等を一覧化したもので、ご本人とご家族が安心して生活するための「指針」として活用しています。このガイドにより、進行状況に応じてどこに相談すべ

きか、どのような準備が必要かを理解していただき、切れ目ない支援につなげることができます。また、昨年度末には、早期対応を促進する「受診情報シート」も作成し、併せた活用を推進しています。

今後も、これらを支援の「羅針盤」として活用し、ご本人とご家族の「どこに行けばよいかわからない」という不安を解消できるよう、環境整備に努めていきます。



一般質問・答弁
の映像はこちら



尾里集務 議員
お ぎと あつ む

市民の元気を育む「上ヶ平サンビレッジ」の存続を



いま
い
まさ
よし
井 政 良
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 「市中心地のプールは不可欠、持続可能な経営を」との声がある中、市はサウンディング型市場調査の結果によっては、令和9年度末でプール経営を終了するとの方針を示した。施設利用状況と、幅広い世代が利用している現状を踏まえたプール経営に対する考えは。

答 まちづくり推進部長
当施設は、施設・設備共に老朽化が著しく、安全性を確保するための改修に3億円程度を要すると見込んでいます。令和6年度の利用者は延べ約2万8千人、会員は約450人、収支は運営コスト約4480万円のうち施設維持費が約1126万円、残りが人件費等となっています。収入は指定管理料2680万

円、利用料約1800万円という状況です。

答 市長

現在利用されている方々のお気持ちも十分に尊重する必要がありますので、幅広く意見をお聴きする必要性を感じています。今後、サウンディング型市場調査を進める中で、知恵を絞りながら、規模縮小してでも経営を継続できる手立てがないのかなど、しっかりと検討していきたいと考えます。



▲上ヶ平サンビレッジ

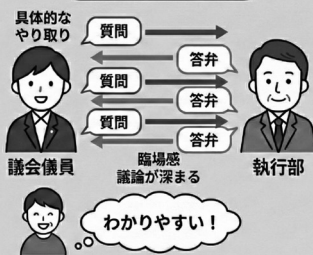
よりわかりやすい
一般質問を目指して

12月定例会の一般質問では、試行的にこれまでの一括質問方式から一問一答方式に変えて行いました。質問時間の配分や質問席の設置、事前通告のあり方などについては、この試行期間中に検証すべき事項として整理し、今回初めての取り組みとなりました。

一問一答方式とすることで、やりとりが対話に近い形となり、論点が明確になります。市民の皆さまにとって「わかりやすさ」を大切に、執行部と協議を重ねながら、より良い一般質問へと改革していきます。

議会の質問方式

一問一答方式



一括質問方式



市長へ提言書を提出

政策課題の解決に向けて
議会の総意を託す

12月11日、市議会から「市政の課題に対する提言書」を市長へ提出しました。市議会では、市民の皆さまの声を市政に反映させるため、積極的な政策提言に取り組んでいます。今年度も「議会議会カフェ」での対話や委員会による視察などを通じて調査研究を重ね、提言としてまとめました。

市民の皆さまと同じ「想い」を持ち、市政運営に反映されるよう、市長へ政策の実現を働きかけました。

《提言書の項目》

- 民生教育まちづくり常任委員会
ごみの減量化・資源化に向けた取り組みの推進を
- 移住定住の促進により街の活性化をあさぎりサニールランド移転新築の早期実現を
- 猛暑から市民を守るために
市民の生活の足となる公共交通の確保・充実に向けて
- 総務産業建設常任委員会
根拠に基づいた実のある防災・減災対策を、能登半島地震から学ぶ
荒廃農地を増やさないために、一層のきめ細やかな施策を



※提言書の本文は
下呂市ホームページをご覧ください

総務産業建設常任委員会 管内視察報告

《南ひだ森林組合》

11月14日、南ひだ森林組合を視察し、市内における林業の現状について意見交換を行いました。

市域の92%が森林である本市において、林業に従事する方は市内全体で約80名（うち同組合54名）と、厳しい現状にあります。

この課題に対し、組合では企業説明会や高校への求人活動、県立森林文化アカデミーのインターンシップの受け入れに加え、「採用後に林業専門学校で学べる機会」を設けるなど、若者が挑戦しやすい独自の雇用支援を行っています。

また、令和4年には組合が事務局を務める「下呂市森林整備協会」が設立され、個別の事業体だけでなく、業界全体が「協働」して森林整備や雇用促進・担い手育成に取り組む体制づくりが進められています。

《西村水力発電所》

12月1日、中部電力(株)が馬瀬下山地区にて建設を進める「西村水力発電所」の視察を行い、建設の背景と水資源の有効活用等について説明を

聞きました。

従来の発電施設（西村ダムから瀬戸第二水力発電所への既設導水路）では、飛騨川の増水時にその余剰分を発電に利用できていない状況であり、この余剰分を有効活用し、可能な限りエネルギーに変えるため、新たな発電所の建設が計画されることとなりました。

同発電所は、地域インフラ能力に合わせた規模設定とし、既存の「配電線」で送電可能な電力量に合わせた設計となっています。最大出力1930キロワット（約3200世帯の電力使用量に相当する量）であり、令和9年度中の運用開始見込みです。

再生可能エネルギーへの理解を深め、今あるインフラを賢く使う設計思想は、今後の公共事業やエネルギー政策を考える上でも、非常に参考となる先進事例でした。

瀬戸第二水力発電所の既設導水路



編 集 後 記

今号に掲載している「議会カフェ」の記事はご覧いただけましたでしょうか。

医療や交通、若者のことなど、暮らしの中で感じていることが率直に語られました。その中には、日頃から各議員が抱えている課題感と重なるものも多くありましたし、改めて、市民の皆さんが強い問題意識を持っているのだと感じさせられるご意見もありました。

そうした声のいくつかは、12月定例会の一般質問でも話題にのぼっています。

議会は、まちの中で交わされた声と向き合いながら、考え続けていく場所です。皆さんのお声をぜひとも議会へお聞かせください。

3月定例会会期日程(予定)

3月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。なお、一般質問などの内容は新聞折込および下呂市メールでお知らせします。

日にち	曜日	会 議 内 容	開始時間
2月25日	水	本会議(初日)	午前9時30分～
3月10日	火	本会議(一般質問)	
11日	水	本会議(一般質問)	
12日	木	常任委員会	
13日	金	常任委員会	
16日	月	予算決算常任委員会(予算関係)	
17日	火	予算決算常任委員会(予算関係)	
18日	水	予算決算常任委員会(予算関係)	
19日	木	予算決算常任委員会(予算関係)	
24日	火	本会議(最終日)	

※変更になる場合も 場所：本会議(下呂庁舎3階議場)
あります。 委員会(下呂庁舎3ー1会議室)

「ばろ議会だより」アンケート

「ばろ議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。「読みたくなる議会だより」とするため、皆さんの声をお聞かせください。

右の二次元コードを読み取り、アンケートに回答をお願いします。



インターネットライブ配信

本会議および常任委員会（付託案件審査）は、動画共有サービス（YouTube）にてライブ配信を行っています。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtp-rJGKQ/featured>

ライブ配信動画は、次回定例会までYouTubeから視聴できます。過去の配信動画は、下呂市ホームページにて視聴できます。

